

ファームウェアダウングレード手順(Red Hat Enterprise Linux 7.3編)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ※ **本書の目的** 本書は対象装置(以下、サーバー)にRed Hat Enterprise Linux(以下RHEL)7.3をインストールする際に必要なファームウェアダウングレード手順を示します。
- ※ **対象** 本書は以下のa),b)の条件を満たす場合を対象とします。下記条件を1つでも満たさない場合は、本書の手順を適用しないでください。
 - a) 対象型番に該当する(本ページ下部の対象型番参照)
 - b) RHEL7.3を新規インストールする
- ※ **補足** 本書の対象装置にRHEL7.4以降をインストールする場合、はじめにRHEL7.3をインストールし、その後、RHELのアップグレードを実施する必要があります。本書を参照してファームウェアダウングレードを実施し、RHEL7.3をインストールし、その後にRHELのアップグレードを実施してください。

Red Hat Enterprise Linuxをインストールする場合、本体装置のEXPRESSBUILDERのファームウェアバージョンによってダウングレード手順が異なります。

次ページのフローチャートに従い、ファームウェアのダウングレード、RAIDコントローラファームウェアのアップデートを実施してください。

対象型番： 以下の型番のみが適用対象となります。2nd-Gen、3rd-Genは適用対象外です。下記型番以外の装置には本書を適用しないでください。

Express5800/R120h-1M： N8100-2557Y、N8100-2561Y、N8100-2753Y、N8100-2557H1Y、
N8100-2557H2Y、N8100-2753S01Y

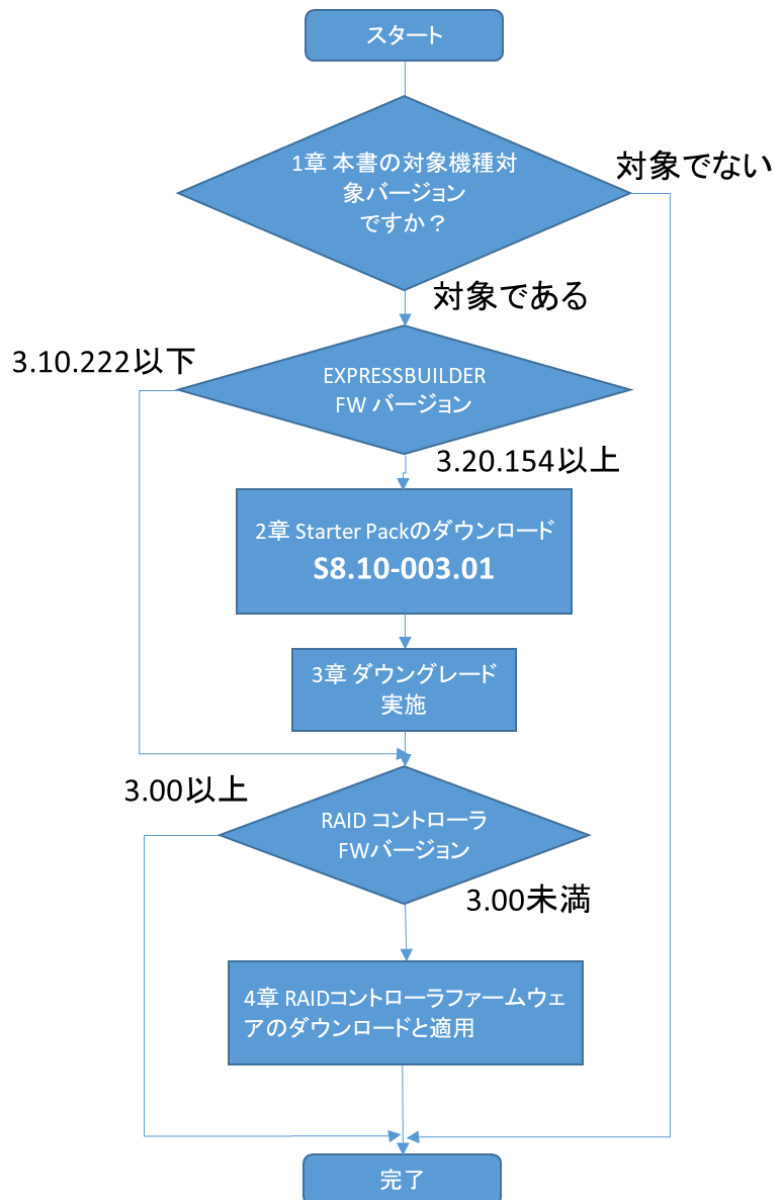
Express5800/R120h-2M： N8100-2562Y、N8100-2563Y、N8100-2564Y、
N8100-2565Y、N8100-2562H1Y、N8100-2563H1Y、
N8100-2564H1Y、N8100-2565H1Y

Express5800/R120h-1E： N8100-2602Y、N8100-2603Y

Express5800/R120h-2E： N8100-2604Y、N8100-2606Y

Express5800/T120h： N8100-2640Y、N8100-2641Y

[手順フロー]



【 注意事項 】

- 本書の手順を実施することで、「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」の設定が初期設定に戻ります。RBSUの設定を変更している場合は、本手順を実施する前にRBSUの設定値を記録し、ファームウェアのダウングレード後に再設定してください。設定方法の詳細は、本体装置のユーザズガイドおよびメンテナンスガイドをご参照ください。
- 本書のダウングレード手順は、Red Hat Enterprise Linux 7をインストールする前に実施する必要があります。既にRed Hat Enterprise Linux 7をインストールした状態で、ダウングレードを実施することは出来ません。その場合は、ダウングレードを実施する前にRed Hat Enterprise Linux 7を削除する、もしくはダウングレードを実施した後にRed Hat Enterprise Linuxを新規(再)インストールしてください。
- R120h-2M使用時、SAS拡張カード(N8116-51)を搭載し、かつリアドライブケージ(N8154-95/98/99)、ミッドプレーンドライブケージ(N8143-100)を搭載した構成の場合、ダウングレード後、第3章の手順(20)を参考にシステムファンの設定を変更してください。
- Red Hat Enterprise Linuxのインストール方法は、本体装置のインストレーションガイドをご確認ください。

1章 本書の対象機種、対象バージョンですか？

以下のa)~b)の条件が当てはまる場合にのみファームウェアのダウングレードが必要となります。

1 つでも条件に当てはまらない場合、本書の対象ではありません。ダウングレードは行わないでください。

a) **対象型番に該当する(表紙下部の対象型番参照)**

b) **RHEL7.3を新規インストールする**

また、ページ2のフローチャート内にあるEXPRESSBUILDERのバージョンは以下の方法で確認してください。

--- EXPRESSBUILDERバージョン確認方法 ---

以下のいずれかの方法で、対象となる本体装置のバージョンを必ず確認してください。

EXPRESSBUILDERのバージョンは、以下の方法でご確認いただけます。

* 本体装置にて確認する場合 *

< システムユーティリティでの確認方法 >

- 本体装置に、ディスプレイとキーボードを接続します。
- 本体装置の電源をONにします。しばらくするとディスプレイにPOST(Power On Self-Test)画面が表示されます。POST中に、キーボードの<F9>キーを押下してシステムユーティリティに入ります。
- システムユーティリティの「System Information > Firmware Information」を選択すると、画面に各ファームウェアのバージョンが表示されますので、『EXPRESSBUILDER』項から、EXPRESSBUILDERのバージョンを確認します。
- バージョン確認後は<ESC>キー、または、『Exit』を選択し、システムユーティリティを終了します。

注) システムユーティリティの使用方法的詳細は、メンテナンスガイドの『便利な機能』、『システムユーティリティ』をご参照ください。

* リモート環境から確認する場合 *

< iLO WEB インターフェースからの確認方法 >

- PC端末を用意し、iLOマネジメントネットワークと接続します。
- PC端末でWebブラウザを起動し、iLO Webインターフェースに接続し、ログインします。
- iLO Webインターフェースの左メニューの『ファームウェア & OSソフトウェア』を選択し、『ファームウェア』を選択します。画面に各ファームウェアのバージョンが表示されます。『EXPRESSBUILDER』項から、バージョンを確認します。
- バージョン確認後、Webブラウザを終了します。

2章 Starter Packのダウンロード

下記3点を準備します。

- インターネットに接続されたPC端末
- DVD-Rに書き込みができる光ディスクドライブ（PC端末内蔵の光ディスクドライブ可）
- DVD-R媒体1枚

注）iLOのリモートメディア機能を使用することで、DVD媒体を使用しなくてもStarter Packを適用することが出来ます。
（リモートメディア機能を利用するには、リモートマネジメント拡張ライセンス[N8115-33/-36]の購入が別途必要です）

対象のStarter Packをダウンロードします。

(1) PC端末から以下のURLにアクセスし、Starter Packをダウンロードします。

Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-003.01

(<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010107070>)

(2) (1)のURLにアクセスできない場合は、以下URLから検索しダウンロードします。

<https://jpn.nec.com/>

(「サポート情報」-「サーバー」-「PCサーバー(Express5800シリーズ)」-「修正情報・ダウンロード」>)

“Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-003.01” で検索

(3) Starter Pack掲載ページの【準備: Starter Pack DVDの作成】を参照し、DVDの作成を行います。

注）Starter Packは、本体装置の保証期間内もしくは保守契約期間内(ExpressSupportPack含む)であれば、無償でダウンロードすることが出来ます。

3章 ファームウェアのダウングレード手順

(事前準備)

ファームウェアのダウングレードにあたって、工場出荷時に設定されたUser Default設定(下記メニュー)について設定値を記録してください。ダウングレード後、再設定が必要な項目があります。

※ 工場出荷時設定から変更されている場合は、メンテナンスガイドにて工場出荷時設定を確認してください。

POST中に <F9> キーを押してシステムユーティリティに入り、

「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU)」以下の設定を確認し、本書内に記録してください。

a. System Options > USB Options > Internal SD Card Slot

- ☐ Enabled
- ☐ Disabled

b. Advanced Options > Fan and Thermal Options > Thermal Shutdown

- ☐ Enabled
- ☐ Disabled

c. Advanced Options > Fan and Thermal Options > Fan Failure Policy

- ☐ Shutdown/Halt on Critical Fan Failures
- ☐ Allow Operation with Critical Fan Failures

d. Date and Time > Time Format

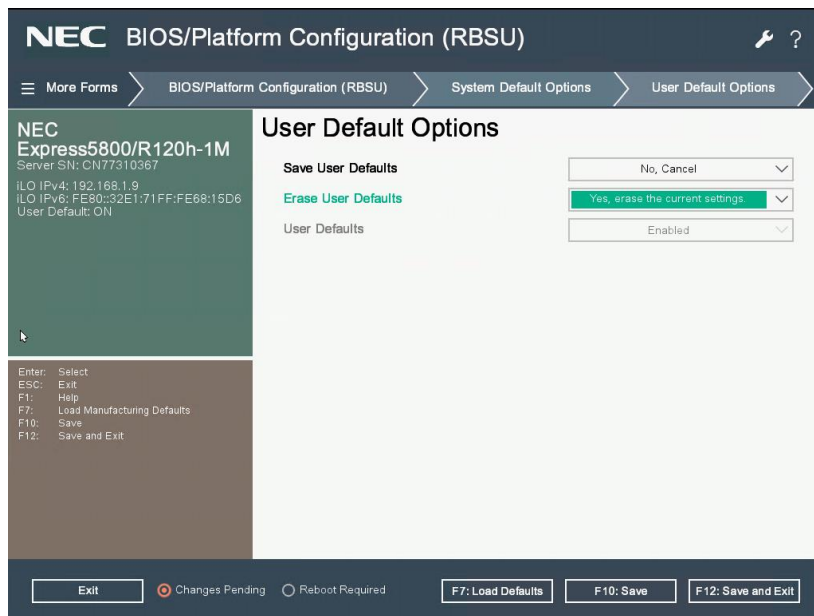
- ☐ Coordinated Universal Time (UTC)
- ☐ Local Time

e. Date and Time > Time Zone

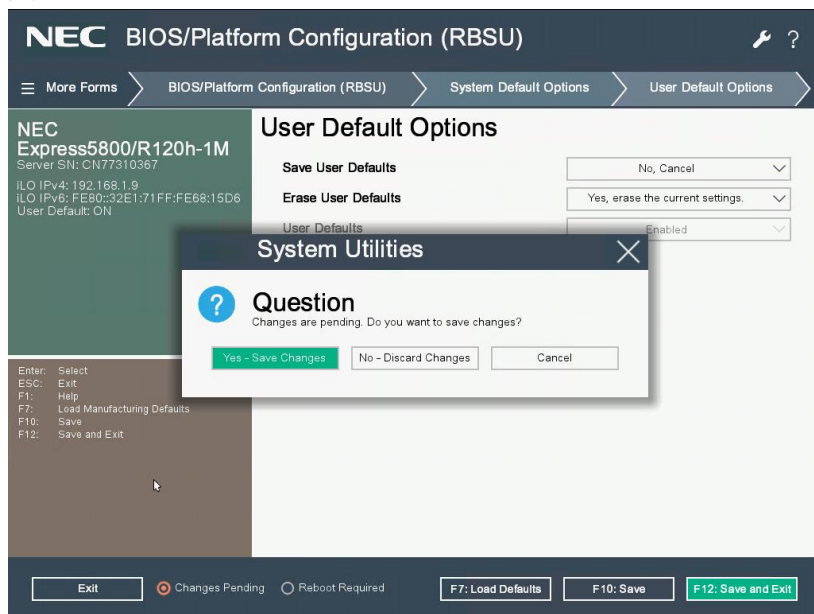
- ☐ UTC+ (:)
- ☐ Unspecified Time Zone

(1) 以下の手順により、User Default設定をクリアします。

- 「System Default Options > User Default Options > Erase User Defaults」を
[Yes, erase the current settings]に変更します。



変更後、<F12> キーを押してシステムユーティリティを終了し、サーバーを再起動します。



(2) 「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」の設定のうち、デフォルトから変更した項目を記録します。設定をデフォルトに戻した後、各種ファームウェアのダウングレードを実施します。

(ダウングレード完了後に手順(21)にて記録した設定を再設定します。)

(3) セキュアブートを設定しているときは、以下の手順により、いったんセキュアブートを無効にします。

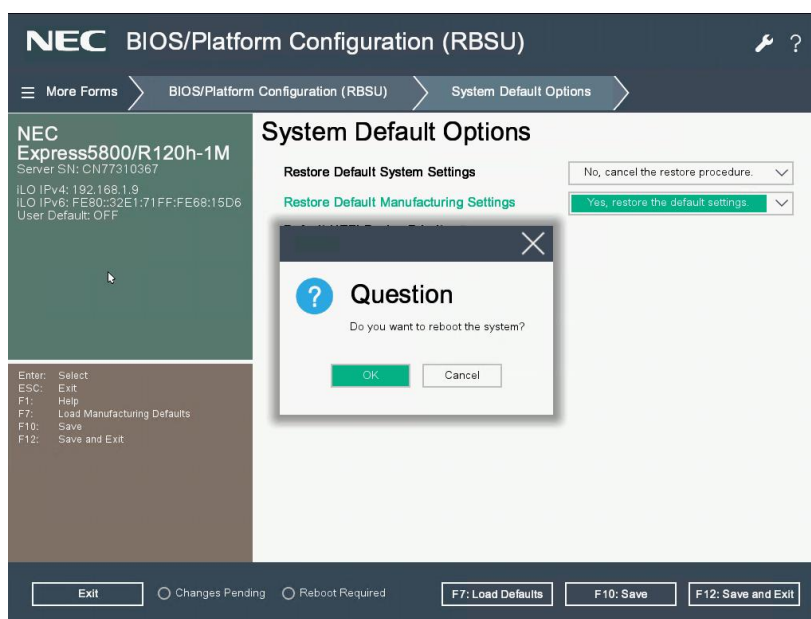
- 「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Secure Boot Settings」に移動します。

- 「Attempt Secure Boot」を「Disabled」に設定します。
- <F10> キーを押して設定を保存します。

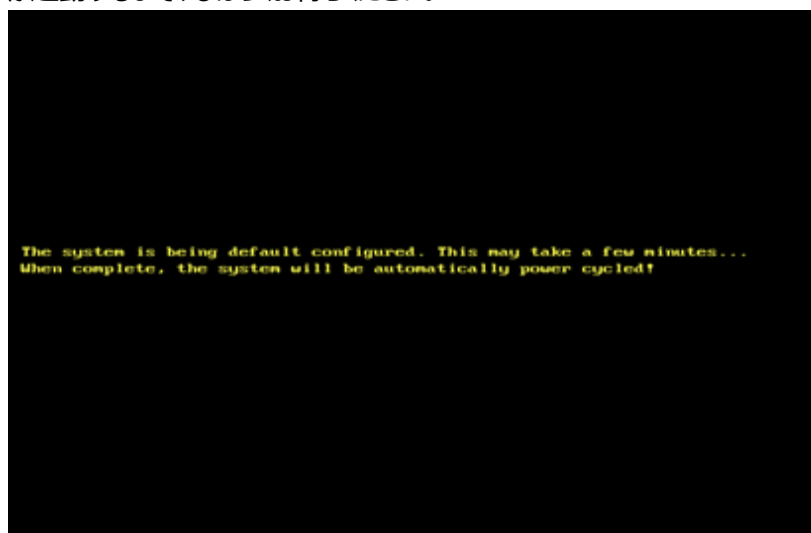
(4) DVDドライブにStarter Pack DVDをセットします。

(5) 以下の手順により、Default Manufacturing Settingsをリストアします。

- 「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Default Options」に移動します。
- 「Restore Default Manufacturing Settings」に **[Yes, restore the default settings]** を設定します。
- OKを選択し、サーバーを再起動します。



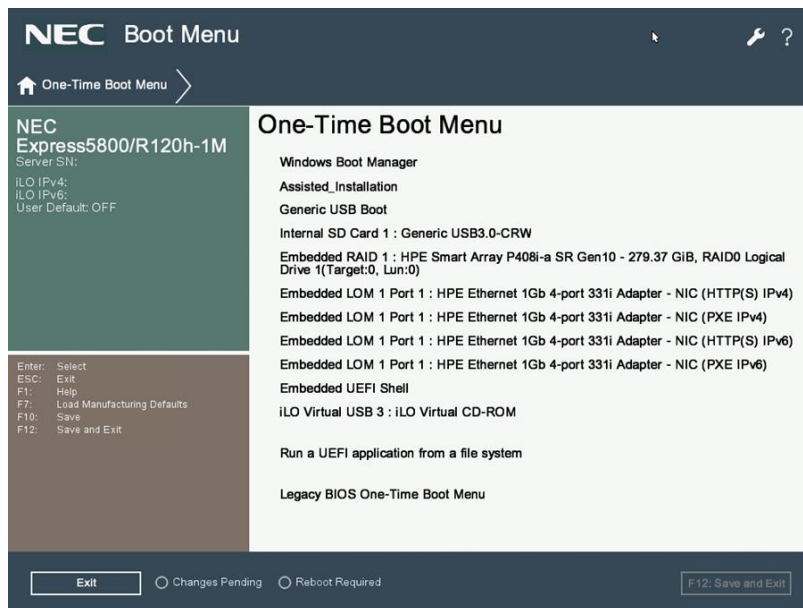
- 以下のメッセージが表示され、何度か自動でリブート(電源オフ/オン含)が繰り返される場合がありますが、POSTが起動するまで、しばらくお待ちください。



(6) 再起動後、POST中に <F11> キーを押します。



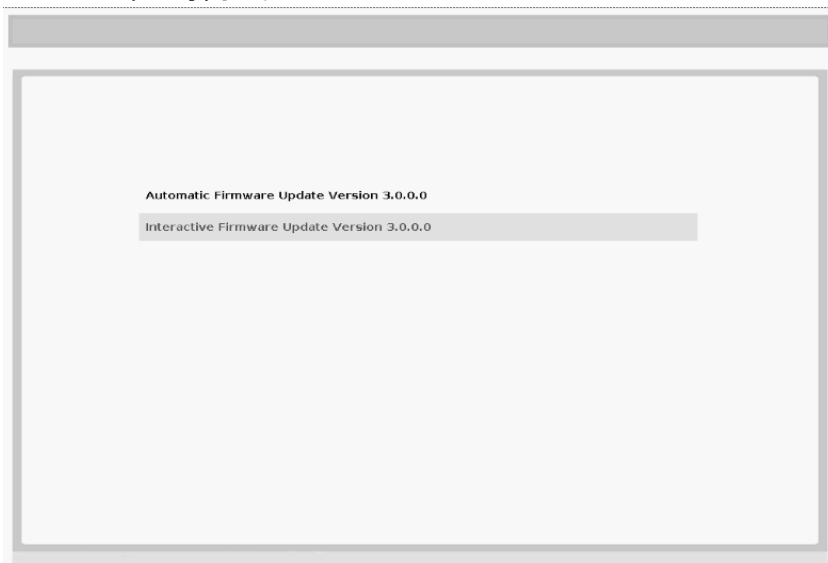
そのまま待つと、Boot Menuが表示されます。



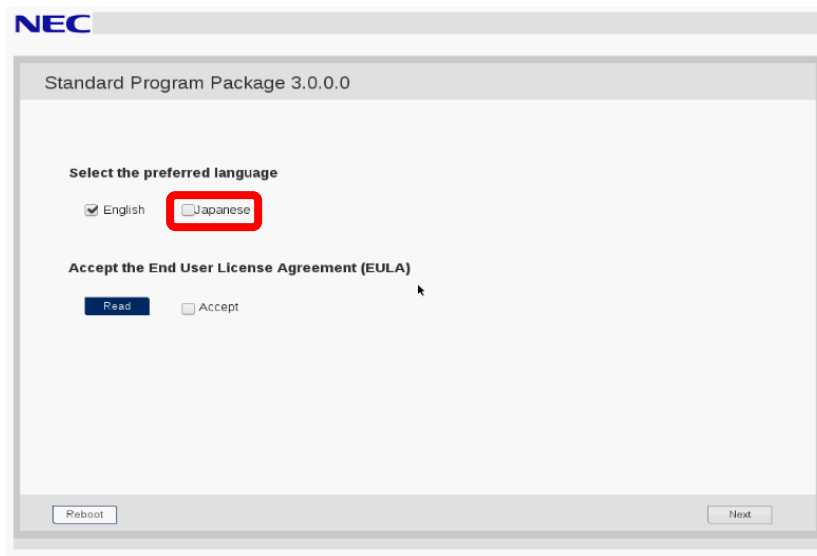
(環境によって表示が異なります)

(7) One-Time Boot Menu上で、手順(1)でセットしたDVDドライブを選択し、メニューを終了すると、サーバーが Starter Pack DVDから起動します。

以下の画面が表示されますので、10秒以内に<↓>キーを押して「Interactive Firmware Update」で<Enter>キーを押します。

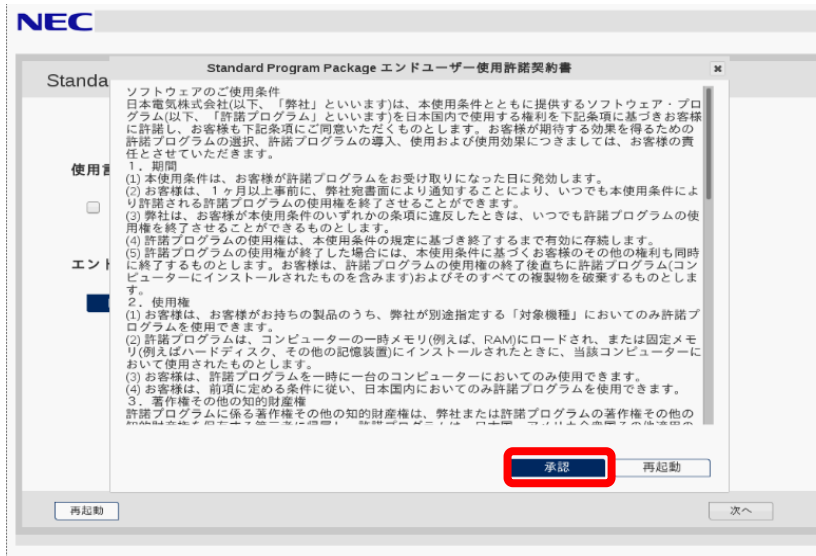


次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

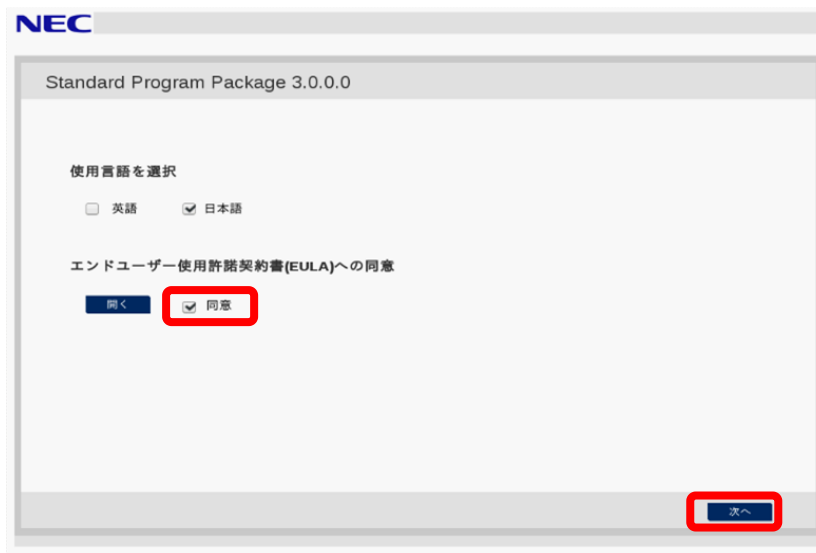


(8) 「Select the preferred language」で「Japanese」を選択します。

(9) 「エンドユーザー使用許諾契約書(EULA)への同意」で「開く」をクリックし、内容を確認して「承認」をクリックします。



(10) 同意のチェックを確認し、画面右下の「次へ」をクリックします。



(11)「ファームウェアの更新」を選択します。



「ローカルホストガイドアップデート」画面が表示され、「手順1 インベントリ」が自動的に始まります。

以下の「インベントリ完了」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



画面左下の「次へ」をクリックします。

(12)「手順2 レビュー」が表示されます。

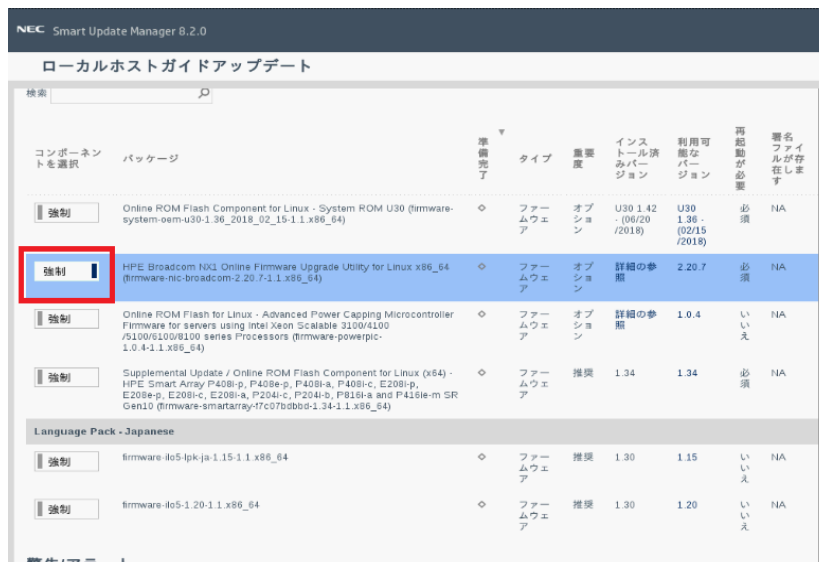
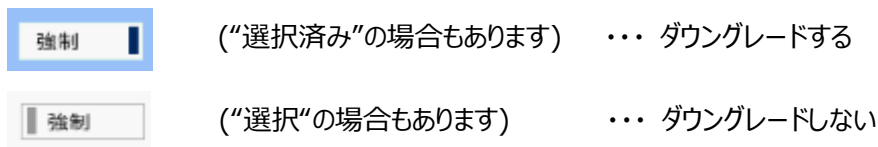


次のように、ファームウェアの一覧が表示されます。



(環境によって表示されるファームウェアが異なります)

(13) ダウングレードするファームウェアを選択します。ファームウェアのパッケージ名の左側に表示されているボタンをクリックすることで選択することができます。



以下の【注意 1】に記載されているファームウェア【**以外**】をすべて選択してください。

【 注意1 】

以下のファームウェアのダウングレードは行わないでください。（p14-p16参照）

- System ROM
- Power Management Controller
- iLO5 FW、iLO5言語パック
- Innovation Engine Firmware
- Server Platform Service (SPS) Firmware
- RAIDコントローラ
- HDD/SSD製品のファームウェア
- HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64
(firmware-nic-intel-1.xx.x-x.x x86_64)

例：N8104-175,-176,-184,-186実装時、R120h-1E,-2E,T120hのオンボードネットワークポート

【 注意2 】

RAIDコントローラファームウェアについては、**Version : 3.00未満の場合には3.00に**アップデートする必要があります。RAIDコントローラファームウェアのダウンロードと更新は4章で行います。

「System ROM」

NEC Smart Update Manager 8.2.0

ローカルホストガイドアップデート

検索

コンポーネントを選択

パッケージ

強制的にインストールする

Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U30 (firmware-system-oem-u30-1.36_2018_02_15-1.1.x86_64)

強制的にインストールする

HPE Broadcom NXJ Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.20.7-1.1.x86_64)

強制的にインストールする

Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100 /5100/6100/8100 series Processors (firmware-powerpic-1.0.4-1.1.x86_64)

強制的にインストールする

Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-b, P408e-b, P408i-c, E208i-p, E208e-p, E208i-b, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P419i6-m SR Gen10 (firmware-smartarray-17c07d0bbd-1.34-1.1.x86_64)

Language Pack - Japanese

強制的にインストールする

firmware-ilo5-lpk-ja-1.15-1.1.x86_64

強制的にインストールする

firmware-ilo5-1.20-1.1.x86_64

Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U30 (firmware-system-oem-u30-1.36_2018_02_15-1.1.x86_64)

準備完了	タイプ	重要度	インストールバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要	署名ファイルが存在します
◇	ファームウェア	オプション	U30 1.42 - (06/20 /2018)	U30 1.36 - (02/15 /2018)	必須	NA
◇	ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.20.7	必須	NA
◇	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.0.4	いいえ	NA
◇	ファームウェア	推奨	1.34	1.34	必須	NA
◇	ファームウェア	推奨	1.30	1.15	いいえ	NA
◇	ファームウェア	推奨	1.30	1.20	いいえ	NA

「Power Management Controller」

ローカルホストガイドアップデート

検索

コンポーネントを選択	パッケージ	詳細
強制	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM v1.30 (firmware-system-oem-a30-1.36_2018_02_15-1.1.x86_64)	オンラインROMフラッシュコンポーネント Linux - システムROM v1.30 (ファームウェアシステムoem-a30-1.36_2018_02_15-1.1.x86_64)
強制	HPE Broadcom NIC Online Firmware Upgrade Utility for Linux v1.04_64 (firmware-nic-broadcom-2.20.7-1.1.x86_64)	HPE Broadcom NIC オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ Linux v1.04_64 (ファームウェアnic-broadcom-2.20.7-1.1.x86_64)
強制	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100 /5100/6100/8100 series Processors (firmware-powerpc-1.0.4-1.1.x86_64)	オンラインROMフラッシュ Linux - アドバンスドパワーキャッピングマイクロコントローラファームウェア サーバーにIntel Xeon Scalable 3100/4100 /5100/6100/8100シリーズプロセッサを使用 (ファームウェアpowerpc-1.0.4-1.1.x86_64)
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408-p, P408-e-p, P408-i, P408-s, E208-i-p, E208-e-p, E208-c, E208-l, P204-c, P204-d, P816-a and P416le-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07dbd0-1.34-1.1.x86_64)	補足的更新 / オンラインROMフラッシュコンポーネント Linux (x64) - HPEスマートアレイP408-p、P408-e-p、P408-i、P408-s、E208-i-p、E208-e-p、E208-c、E208-l、P204-c、P204-d、P816-aおよびP416le-m SR Gen10 (ファームウェアsmartarray-f7c07dbd0-1.34-1.1.x86_64)
Language Pack - Japanese		
強制	firmware-ilo5-lpk-ja-1.15-1.1.x86_64	ファームウェア-ilo5-lpk-ja-1.15-1.1.x86_64
強制	firmware-ilo5-1.20-1.1.x86_64	ファームウェア-ilo5-1.20-1.1.x86_64

「iLO5 FW、iLO5言語パック」

NEC Smart Update Manager 8.2.0

ローカルホストガイドアップデート

コンポーネントを選択

パッケージ

準備完了

タイプ

重要度

インストール可能なバージョン

利用可能なバージョン

再起動が必要

署名ファイルが存在します

強制	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール可能なバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要	署名ファイルが存在します
強制	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.0.70-1.1.x86_64)							
強制	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100 /5100/6100/8100 series Processors (firmware-powerpc-1.0.4-1.1.x86_64)							
強制	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U32 (firmware-system-oem-u32-1.36_2018_02_14-1.1.x86_64)							
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x86_64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-a, P408e-a, E208i-p, E208e-p, E208i-c, E208i-a, P204i-c, P204i-b, P204i-a and P410i-a SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07b0bb0-1.34_2018_02_14-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	1.59	1.34	必須	NA
強制	firmware-ilo5-lpk-ja-1.15-1.1.x86_64		ファームウェア	推奨	1.30	1.15	いいえ	NA
強制	firmware-ilo5-1.20-1.1.x86_64		ファームウェア	推奨	1.30	1.20	いいえ	NA

警告/アラート

「Innovation Engine Firmware」

NEC Smart Update Manager 8.7.1

ローカルホストガイドアップデート

強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-a, P408-c, E208i-c, E208i-a, P408i-b, P408e-m, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416i-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07b9bd-1.34-1.1.x86_64)	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.20.10	必須
強制	Online HDD/SSD Flash Component for Linux (x64) - MM2000GEFRA Drives (firmware-hdd-ec908c3653-HPG100-1.0.0.1.x86_64)	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.9.8	必須
強制	HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux (x64) - nic-intel-1.20.10-1.1.x86_64	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.9.8	必須
強制	HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for Linux (x64) - (firmware-nic-qlogic-flq-1.9.8-1.1.x86_64)	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.9.8	必須
強制	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.2.0-1.1.x86_64)	ファームウェア	オプション	詳細の参照	0.2.2.0	必須
強制	Online Flash for Linux - Server Platform Services (SPS) Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-sps-04.01.04.381-2.1.x86_64)	ファームウェア	推奨	詳細の参照	04.01.04.381	必須

「Server Platform(SPS) Firmware」

NEC Smart Update Manager 8.7.1

ローカルホストガイドアップデート

強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-a, P408-c, E208i-p, E208i-c, E208i-a, P408i-b, P408e-m, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416i-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07b9bd-1.34-1.1.x86_64)	ファームウェア	クリティカル	3.00	3.00	必須
強制	Online HDD/SSD Flash Component for Linux (x64) - MM2000GEFRA Drives (firmware-hdd-ec908c3653-HPG100-1.0.0.1.x86_64)	ファームウェア	クリティカル <td>3.00</td> <td>3.00</td> <td>必須</td>	3.00	3.00	必須
強制	HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux (x64) - nic-intel-1.20.10-1.1.x86_64	ファームウェア	クリティカル <td>3.00</td> <td>3.00</td> <td>必須</td>	3.00	3.00	必須
強制	HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for Linux (x64) - (firmware-nic-qlogic-flq-1.9.8-1.1.x86_64)	ファームウェア	クリティカル <td>3.00</td> <td>3.00</td> <td>必須</td>	3.00	3.00	必須
強制	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.2.0-1.1.x86_64)	ファームウェア	オプション	0.2.2.0	0.2.2.0	必須
強制	Online Flash for Linux - Server Platform Services (SPS) Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-sps-04.01.04.381-2.1.x86_64)	ファームウェア	推奨	04.01.04.381	04.01.04.381	必須

「RAIDコントローラ」

NEC Smart Update Manager 8.2.0

ローカルホストガイドアップデート

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要	署名ファイルが存在します
強制	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U30 (firmware-system-rom-u30-1.36-2018_02-15-1.1.x86_64)	ファームウェア	オプション	1.0.4	1.0.4	いいえ	NA	
強制	HPE Broadcom N3X Online Firmware Upgrade Utility for Linux (x64) - (firmware-nic-broadcom-2.20-7-1.1.x86_64)	ファームウェア	オプション	1.0.4	1.0.4	いいえ	NA	
強制	Online ROM Flash for Linux - Advanced Server Capable RAID controller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-raid-1.0.4-1.1.x86_64)	ファームウェア	推奨	1.34	1.34	必須	NA	
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-a, P408i-c, E208i-p, E208i-c, E208i-a, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416i-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07b9bd-1.34-1.1.x86_64)	ファームウェア	推奨	1.30	1.15	いいえ	NA	
強制	firmware-405-lpk-ja-1.15-1.1.x86_64	ファームウェア	推奨	1.30	1.20	いいえ	NA	
強制	firmware-405-1.20-1.1.x86_64	ファームウェア	推奨	1.30	1.20	いいえ	NA	

「HDD/SSD製品」

HDD/SSD製品は、利用可能なバージョンが以下の表示となります。

- ・HPD x
- ・HPG x
- ・HPS x

注) xは英数字を示します。

「HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64

(firmware-nic-intel-1.xx.x-x.x x86_64)

例：N8104-175,-176,-184,-186実装時、R120h-1E,-2E,T120hのオンボードネットワークポート」

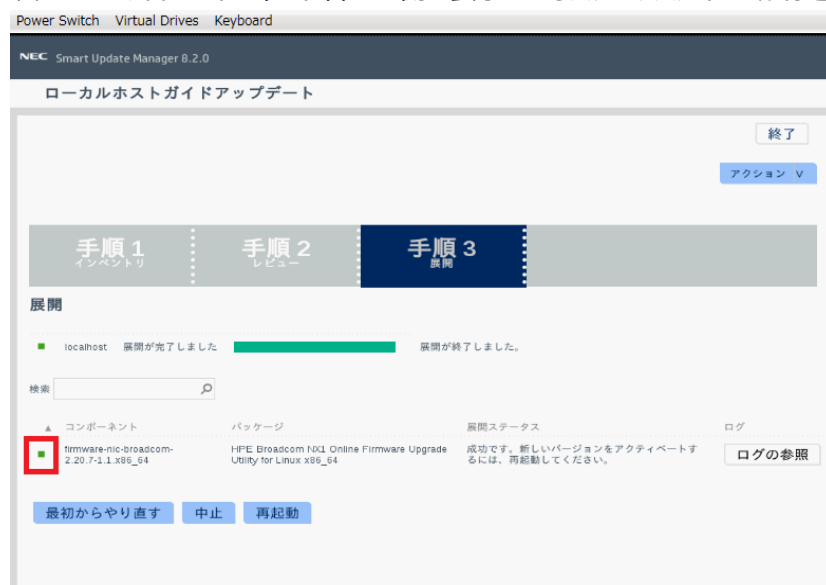
(14) 必要に応じて画面をスクロールします。選択したファームウェアがない場合は、左下の「戻る」をクリックして手順(15)に進みます。選択したファームウェアがある場合は、ウィンドウ下部の「展開」をクリックします。「手順3 展開」が始まりますので、以下の「展開が完了しました」が表示されるまで、しばらくお待ちください。

コンポーネント	パッケージ	展開ステータス	ログ
firmware-nic-broadcom-2.20.7-1.1.x86_64	HPE Broadcom iQDL Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64	成功です。新しいバージョンをアクティベートするには、再起動してください。	ログの参照

最初からやり直す 中止 再起動

ファームウェアのダウングレードに成功したことを確認します。

次のように、各コンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが緑色であることを確認します。



(15) Starter Pack DVDをDVDドライブから取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。

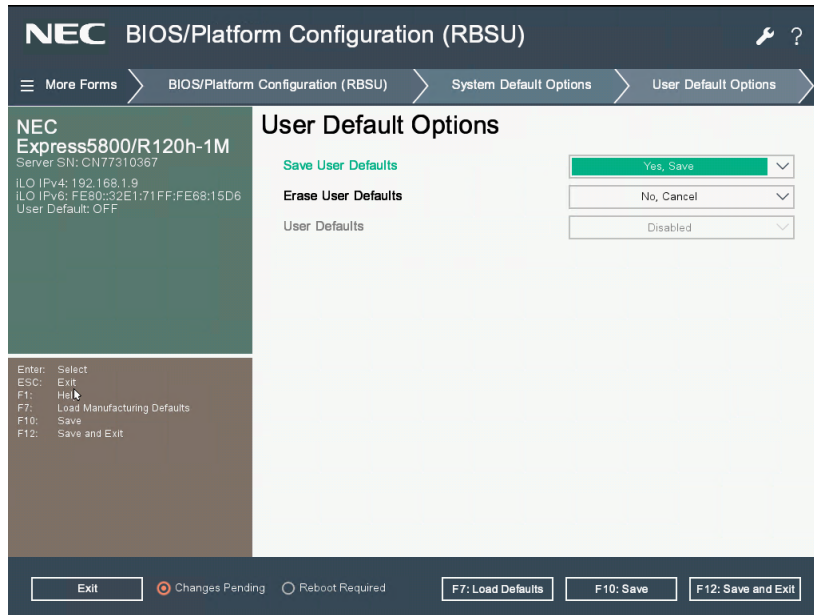
次の画面で「はい、再起動します」をクリックします。



※[はい、再起動します]を、クリックしても再起動しない場合は、右上の[終了]をクリックし、さらに右上の電源アイコンをクリックして再起動を選択してください。

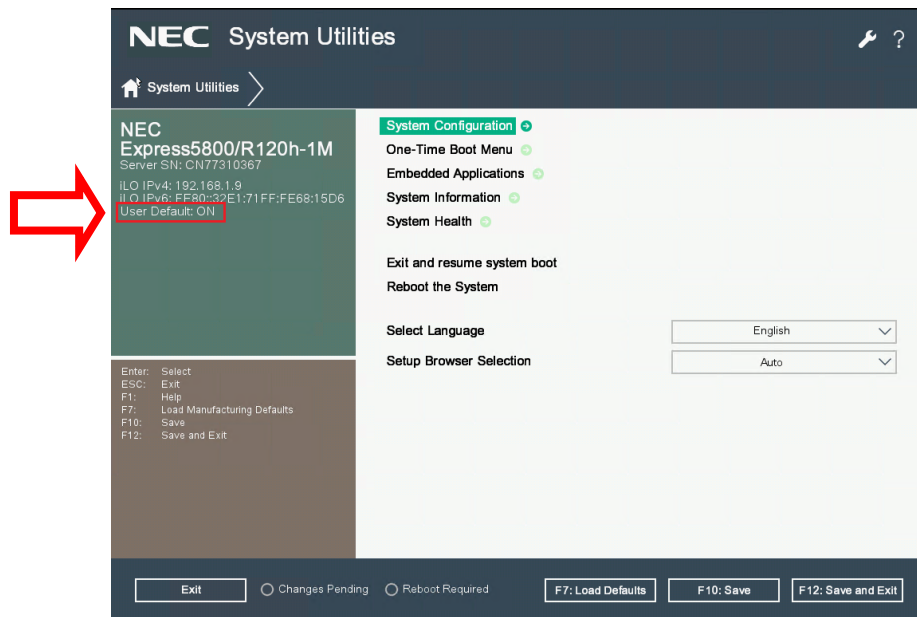
(16) 手順(1)でクリアしたUser Default設定を再設定します。

POST中に <F9> キーを押してシステムユーティリティに入り、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU)」以下を、**3章最初の(事前準備)**で記録した設定に再設定します。再設定後、「System Default Options > User Default Options > Save User Defaults」の設定を **[Yes, Save]** に変更します。



変更後 <F12> キーを押し、システムユーティリティを終了させ、サーバーを再起動します。

(17) 再起動後、再びシステムユーティリティを起動し、下記メッセージにより、User Defaultが有効(ON)であることを確認します。



内蔵DVD-ROM ドライブ [N8151-137], 内蔵DVD-SuperMULTIドライブ [N8151-138]を使用時、ダウングレード後、Starter Pack DVD がDVDドライブから取り出せない場合があります。このとき、「トラブルシューティング」を参照して、DVDを取り出してください。

(18) 「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU)」メニューに移動します。

(19) 必要に応じ、セキュアブートの再設定を行います。(4章を実施する場合は、(20)に進んでください)

手順(3)でセキュアブートを有効から無効に変更した場合、以下の手順にて有効に戻します。

- 「Server Security > Secure Boot Settings」に移動します。
- 「Attempt Secure Boot」に「Enabled」を設定します。

- <F10> キーを押して設定を保存します。

(20) 以下の内容に該当する場合は、システムファンの冷却設定を行います。

- ✓ 装置は Express5800/R120h-2Mである。
- ✓ かつ、SASエキスパンドカード(N8116-51)を搭載している。
- ✓ かつ、リアドライブケージ(N8154-95/98/99)を搭載している。
- ✓ または、ミッドプレーンドライブケージ(N8116-51)を搭載している。

上記の内容に該当する場合は、以下の手順でシステムファンの冷却設定を行います。

- 「Advanced Options > Fan and Thermal Options」に移動します。
- 「Thermal Configuration」に「Increased Cooling」を設定します。
- <F10> キーを押して設定を保存します。

(21) その他の「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」設定

必要に応じて、手順(2)で記録した設定を参照し、手順(19)、(20)以外の「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」設定を再設定します。

設定完了後 <F10> キーを押して設定を保存します。

「Reboot the System」オプションを使ってサーバーを再起動します。

再起動後、システムユーティリティに入り設定が反映されている事を確認し、サーバーの電源をオフにします。

4 章 RAIDコントローラファームウェアのダウンロードと適用

※ RAIDコントローラファームウェアのバージョンが既に**3.00**以上の場合、本章の手順は実施不要です。

Starter Pack Version S8.10-008.01またはS8.10-009.01を使用してRAIDコントローラのファームウェアを適用します。下記3点を準備します。

- インターネットに接続されたPC端末
- DVD-Rに書き込みができる光ディスクドライブ (PC端末内蔵の光ディスクドライブ可)
- DVD-R媒体1枚

注) iLOのリモートメディア機能を使用することで、DVD媒体を使用しなくてもStarter Packを適用することが出来ます。

(リモートメディア機能を利用するには、リモートマネジメント拡張ライセンス[N8115-33/-36]の購入が別途必要です)

4 章-1) Starter Pack のダウンロード

(1) PC端末から以下のURLにアクセスし、Starter Packをダウンロードします。

Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-008.01

(<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109294>)

Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-009.01

(<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109722>)

※2章、3章で使用するStarter Packとはバージョンが異なりますので、ご注意ください。

(2) (1)のURLにアクセスできない場合は、以下URLから検索しダウンロードします。

<https://jpn.nec.com/>

(「サポート情報」-「サーバー」-「PCサーバー(Express5800シリーズ)」-「修正情報・ダウンロード」>」)

“Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-008.01” または
“Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-009.01” で検索

(3) Starter Pack掲載ページの【準備: Starter Pack DVDの作成】を参照し、DVDの作成を行います。

注) Starter Packは、本体装置の保証期間内もしくは保守契約期間内(ExpressSupportPack含む)であれば、無償でダウンロードすることが出来ます。

4 章-2) RAID コントローラファームウェアの適用

(1) 4章-1)で作成したStarter Pack Version S8.10-008.01またはS8.10-009.01のDVDを使用し、本書の3章の手順(3)~(12)(手順(5)を除く)を参考に、「手順2 レビュー」が表示されるまで手順を進めます。

(2) 「手順2 レビュー」が表示されたら、**RAIDコントローラファームウェアのみを選択**します。またRAIDコントローラファームウェア**以外**で選択されているファームウェアがある場合は、すべて**選択を解除**します。ファームウェアのパッケージ名の左側に表示されているボタンをクリックすることで選択または選択を解除することができます。



(“選択済み”の場合もあります)・・・ RAIDコントローラファームウェア



(“選択”の場合もあります)・・・ RAIDコントローラファームウェア**以外**

「RAIDコントローラファームウェア」



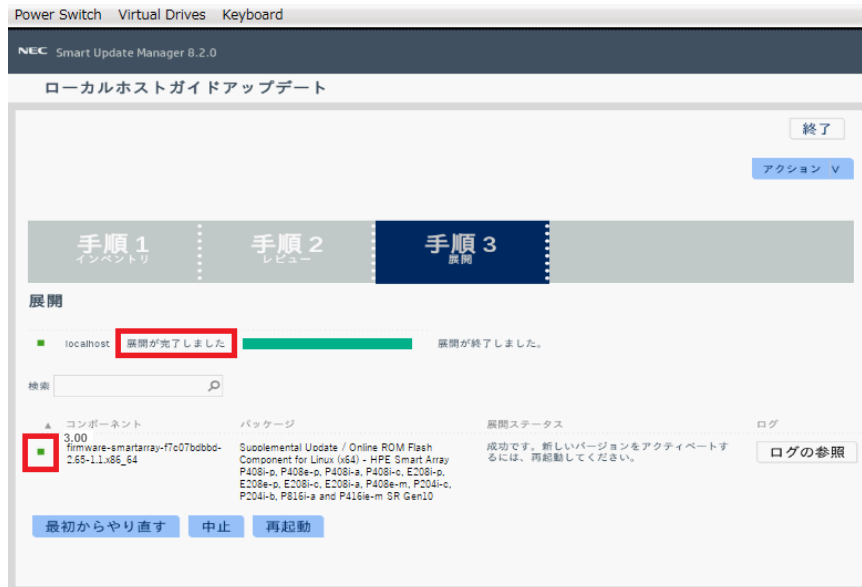
Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) -
HPE **Smart Array** P408i-p, P408e-p, P408i-a, P408i-c, E208i-p,
E208e-p, E208i-c, E208i-a, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416ie-m SR
Gen10 (firmware-smartarray)

注) Starter PackS8.10-009.01 でファームウェアを適用する場合、適用時にバージョンが 3.53 と表示されますが、バージョン 3.00 が適用されます。

(3) ウィンドウ下部の「展開」をクリックします。「手順3 展開」が始まります。

(4) しばらく待つと、以下の「展開が完了しました」が表示されます。

RAIDコントローラファームウェアのコンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが緑色であることを確認して適用が成功したことを確認します。



(5) Starter Pack DVDをDVDドライブから取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。

次の画面で「はい、再起動します」をクリックします。

※[はい、再起動します]を、クリックしても再起動しない場合は、右上の[終了]をクリックし、さらに右上の電源アイコンをクリックして再起動を選択してください。

必要に応じ、セキュアブートの再設定を行います。

手順(1)で参照した本書の3章の手順(3)でセキュアブートを有効から無効に変更した場合、以下の手順にて有効に戻します。

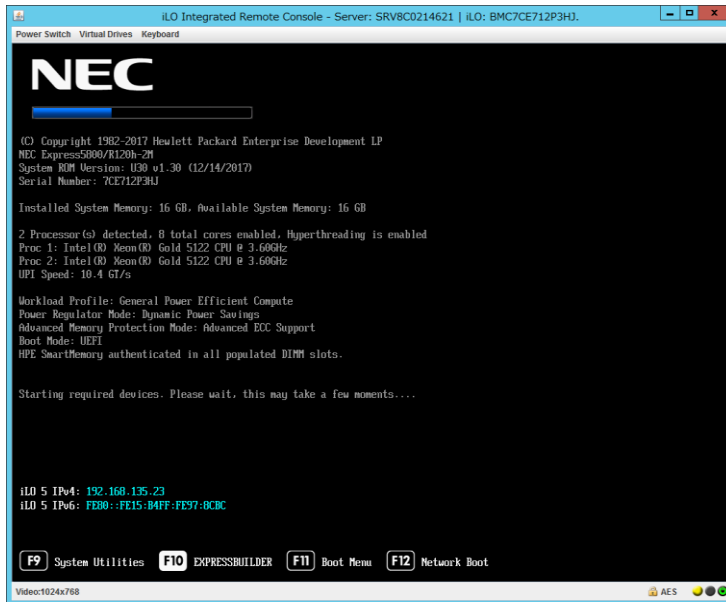
- 「Server Security > Secure Boot Settings」に移動します。
- 「Attempt Secure Boot」に「Enabled」を設定します。
- <F10> キーを押して設定を保存します。

以上で作業は完了です。

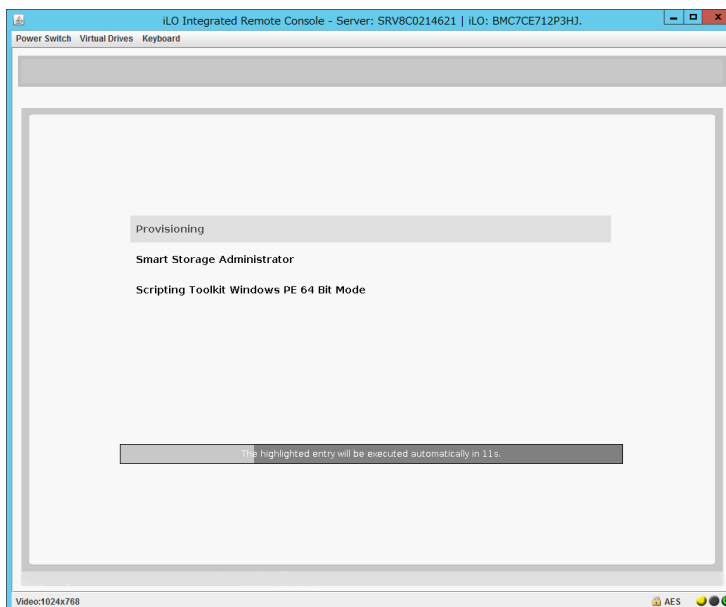
トラブルシューティング

ダウングレード後にサーバーを再起動して、Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合、以下の手順に従って取り出してください。

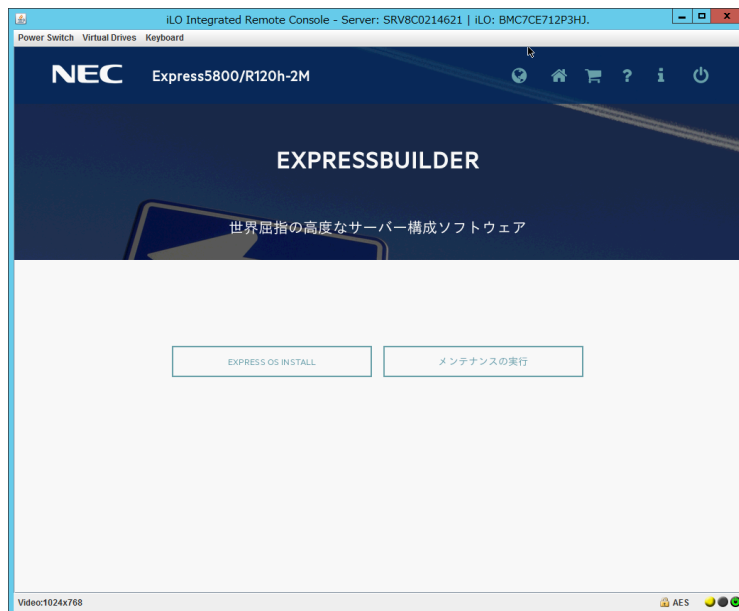
- (1) 電源のオフ、オン、または、<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを行い、サーバーを再起動します。
次のように、POSTが始まります。



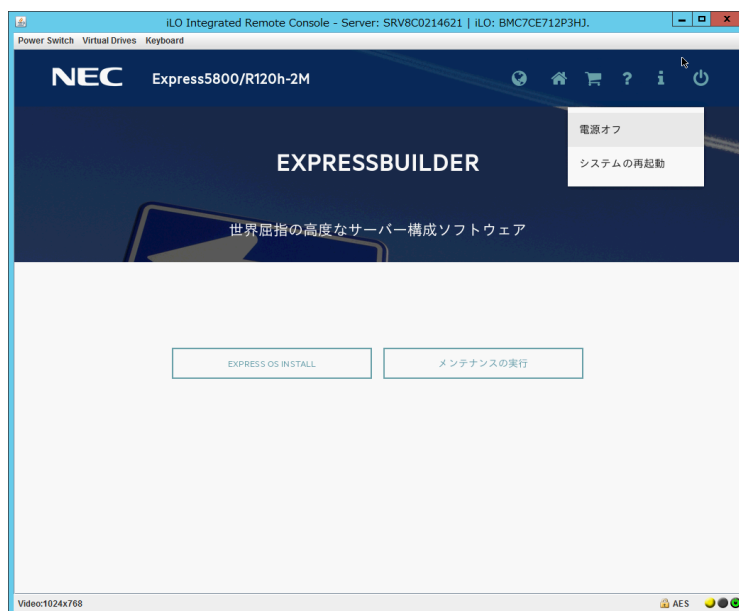
- (2) POST画面でF10キーを押します。次の画面が表示されます。



- (3) メニューの「Provisioning」を選択します。何もキーを押さない場合、自動的に「Provisioning」が選択されます。
- (4) EXPRESSBUILDER起動後、DVDドライブのイジェクトボタンを押して、Starter Pack DVDを取り出します。



(5) 「電源オフ」、または「システムの再起動」を選択します。



以上で作業は終了です。

変更履歴

版数	改版日	改版内容
13	2021 年 7 月 19 日	RAID ファームウェア更新用 StarterPack 情報更新
12	2020 年 12 月 25 日	ファームウェア情報更新
11	2020 年 6 月 19 日	RAID コントローラファームウェアバージョン最新化
10	2020 年 2 月 14 日	手順変更
9	2020 年 1 月 10 日	記載修正
8	2019 年 11 月 28 日	RAID コントローラファームウェアバージョン最新化
7	2019 年 9 月 30 日	手順訂正
6	2019 年 6 月 7 日	対象型番明記

■ 本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がある場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

連絡先	: ファーストコンタクトセンター
T E L	: 0120-5800-72
受付時間	: 9:00～12:00 13:00～17:00 月曜日～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
※ 番号をお間違えにならないよう、よくお確かめの上、おかけください。	